

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2024年12月27日		～	2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78世帯	(回答者数)	57世帯
○職員評価実施期間	2025年1月27日		～	2025年1月31日
○職員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・“能力開発型のサポート療育”を教室の強みとしており、子ども達の得意分野のスキルアップ・新しい可能性の発掘に特化したカリキュラムであること。	・子ども達の特性や成長に合わせた学習や取り組み内容の提案を行っている。新しいことへ臆することなく挑戦していくことが出来る様な環境・雰囲気作りに注力しています。	・様々な経験を重ねてもらうことが出来る様に、定期的に取り組み内容の見直し・改善・提案を職員間で行っております。
2	・将来の就労や進学、自立に向けた取り組み内容であること。 具体的には、将来の就職に備えたパソコンスキルの向上を行う事で様々な検定資格を取得していくことが出来る様に・必要最低限の読み書きスキル向上を目的とした漢字検定への取り組み等を行っております。	・楽しみながらスキルアップしていくことが出来る様に、個々のレッスンカリキュラムを提案・実施しています。成功体験を重ねていくことで、自己肯定感の向上や自信に繋げていくことが出来る様にスモールステップを常に意識して“沢山の褒める声掛け”を行っております。	・職員間ミーティングを随時行う事で、レッスン内容の充実を図っています。
3	・異年齢交流(小学生～高校生)を通して、様々なお友だちとの関わりの中で培ってもらえることが出来るコミュニケーション力の向上カリキュラムであること。	・曜日別に取り組み内容を変更して行う事で、様々な療育・支援サービスの提供に繋がる様に工夫・意識しております。	・子ども達同士が沢山関わり、交流することが出来る活動内容となる様に検討・計画を随時行っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所との交流、地域の他の子ども達と活動を共にする機会が持っていない。	・常に安心して利用してもらえる教室、安定した療育・環境を提供していく事を軸としている為、取り組み内容に変化を加えることが難しい時があります。	・子ども達の特性に配慮しながら、突然の変化とならない様に事前告知の徹底を行っていくことで対応力を養うと共に楽しい活動内容となる様に事前打ち合わせを重ねて行きたいと思えます。 ・新しい取り組みを行っていく為にも、職員スキルの向上及び情報収集に注力していきます。
2			
3			